

第42回BSN高等学校剣道選手権大会 感染防止基本計画書

全般的な事項

- 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所に掲示する
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する
- 障がい者や高齢者など利用者の特性にも配慮する
- 大会後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局とあらかじめ検討する
- 全日本剣道連盟から出されたガイドラインを遵守しておこなう

手洗い場所

- 手洗い場には石鹼（ポンプ型）を用意する
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする
- 布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しない
- 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する

更衣室、休憩・待機スペース

- 一度に入室する参加者の数を制限する
- 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）をこまめに消毒する
- 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮する

洗面所（トイレ）

- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する
- 手洗い場には石鹼（ポンプ型）を用意する

飲食物の提供時

- 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛ける
- スポーツドリンク等の飲料については、ペットボトル等の回し飲みはさせない

物品の消毒

- 各試合場で使用する物品等（審判旗、ストップウォッチ、タイマー）は審判や、役員が交代するごとに消毒する

大会会場

- 換気設備を適切に運転し、換気の悪い密閉空間とならないよう、配慮する。
- 会場入り口で手指消毒を行う
- 定期的に床のモップがけを行う

ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、各自持ち帰らせる
- マスクや手袋をはずした後は、必ず石鹼と流水で手を洗い、手指消毒する

- 消毒、使用済みのペーパータオルや手袋は、ビニール袋に入れて専用のゴミ箱に捨てる

参加者への留意点

- 運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※少なくとも2m）を空けること（介助者や誘導者の必要な場合を除く）
- 試合後は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること
- タオルの共用はしないこと
- 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（水飲み場、トイレ）に捨てないこと
- 選手・応援生徒・補助役員は試合のない待機中もマスクを着用すること
- 現在の試合の選手及び次の試合の選手以外は、選手控え場所で間隔を空けて待機すること
- 選手は試合を行う際には面マスクを着用すること。また、1試合ごとに手洗いや消毒を行うこと
- 審判員、役員はマスクを着用すること
- 選手の入場時、ウォーミングアップ時のさいに時間差をつける
- 保護者の応援は以下の条件で認める
 - ・出場する3年生1名につき保護者1名までの入場とする
 - ・応援は大会本部で指定された場所で行う
 - ・入場時に検温チェックシート（大会5日前から）を提出してもらう
 - ・首都圏に2週間以内の移動の歴がある場合は入場を遠慮してもらう
 - ・入場時にIDを配布する（IDがない保護者は入場できない）
 - ・指定された席でマスクを着用し観戦してもらう

その他

- 選手・役員・保護者の全ての入場者に対して発熱（37.5度以上または、平熱より0.5度以上高状況が継続する）等風邪症状がある場合は入場を認めない
- 新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況によっては、無観客や大会自体の中止もあり得る